

# 労働災害防止に向けた取組

～ 労働局長が新幹線工事現場をパトロールしました ～



平成24年5月18日 県内の新幹線工事現場をパトロールする労働局長

青森県内の労働災害が平成22年、23年と2年連続して増加し、今年に入ってもなお増加傾向にあることから、青森労働局（局長 鈴木一光）では、今年の4月から6月までの3か月間を「労働災害防止の集中的な取組期間」と定め、労働災害防止に向けたさまざまな対策に取り組んでいます。

この一環として、5月18日に、労働局長が県内の新幹線工事現

場をパトロールし、労働者の労働安全衛生対策について確認するほか、広く労働災害防止対策について呼びかけを行いました。



平成24年5月18日 現場事務所であいさつする労働局長



平成24年5月18日 パトロール後、NHKの取材を受ける労働局長

また、パトロールに先立っては、県内の労働安全衛生の実情に詳しい安全衛生専門委員と会議を開き、労働災害防止に向けたさまざまなご意見やご提案をいただきました。



平成24年5月18日 安全衛生労使専門家会議であいさつする労働局長

建設業では、墜落・転落による労働災害が頻発しています。

また、製造業や運輸交通業、商業、社会福祉施設などにおいても、労働災害が増えています。

今一度、事業者・労働者が一体となって、労働災害防止に向け取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

問い合わせ先：労働基準部健康安全課（017）734-4113